



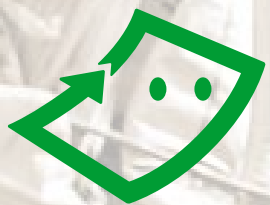
第 61 期 環境経営レポート

(活動期間：2017年10月1日～2018年9月30日)



山陽製紙株式会社

発行：2018年10月30日



目次

P1	ご挨拶
P2	経営理念
P3	環境経営方針
P4	会社概要
P5	組織図
P6	各部門での取り組み内容
P7	環境負荷物質排出量の推移
P8	環境目標及びその実績（全社）
P9 ～ P12	環境活動の取り組み計画と評価（工場、事務・営業部門）
P13	環境関連法規制等の順守状況
P14 ～ P20	環境活動の紹介①～⑦
P21	クレープ紙製品のご紹介
P22 ～ P24	アップサイクルサービスと商品のご紹介
P25	環境トピックのご紹介
P26	工場見学＆紙抄きイベント
P27	総括～代表者による全体評価と見直しの結果～



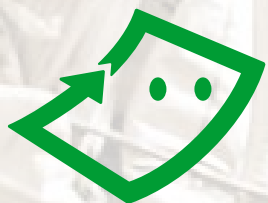
ご挨拶

『「紙創り」を通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献すること』を基本理念として、日々精進しております。

どうしたら自然と共生できるかということを常に考え、そのために自然を守る活動や地球環境負荷低減活動に、全社員で積極的に取り組む会社でありたいと思います。

エコアクション 21 の活動を通して、より一層の理念の浸透を目指します。

山陽製紙株式会社 代表取締役 原田 六次郎



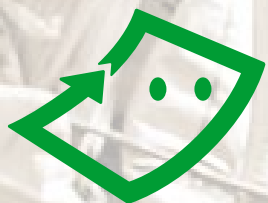
経営理念

『私たちは紙創りを通してお客様と喜びを共有し、
環境に配慮した循環型社会に貢献します。』

- ・私たちは希少価値のある紙をお客様と共に創ります
- ・私たちはお客様と共に成長発展することを喜びとします
- ・私たちは資源として使った地球の財産を守り、再生し、循環型社会に貢献します。

環境経営方針

山陽製紙は、地球環境を守ることが全人類の最重要課題の一つであることを認識し、どうしたら自然と共生できるかということを中心に考え、環境問題に全社員で積極的に取り組みます。



環境経営方針

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・燃料の消費に伴う**二酸化炭素排出量**の削減
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の**3R**（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水資源の**節水**
- ④循環資源を活かし、環境に配慮した製品の**開発・販売促進**
- ⑤**グリーン購入**（環境に配慮した資材の購入）の推進
- ⑥化学物質の**適正管理**
- ⑦**環境人財**の育成

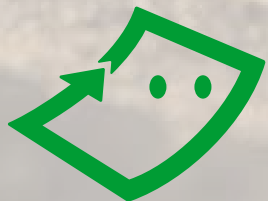
これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. **環境関連法規制**や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを**環境経営レポート**として取りまとめ公表します。

制定日：2007年11月13日 / 改訂日：2018年10月30日

原田 六次郎



会社概要

代表者	代表取締役 原田六次郎
社員数	48名
創業	昭和3年3月
設立	昭和32年12月
本社工場	大阪府泉南市男里6-4-25
東京営業所	東京都千代田区岩本町2-17-2 秋葉原サウスイーストビルディング8F
事業内容	紙類の企画、製造・販売、並びに紙再生サービス
営業目的	各種クレープ紙の製造及び販売 自社ブランド商品（SUMIDECO、crep、PELP!）の企画・販売 電子部品用層間紙の製造および関連資材の販売 その他オーダーメイド再生紙の製造 他
事業規模	製品売上高／10億7,000万円 主要製品生産量／3,645 t／年
主要施設	土地／10,400 m ² 、建物 7,100 m ² 設備／抄紙機2台、スリッター設備一式、フレキソ印刷機、平判断裁機、 シートマシナー式、活性炭ろ過方式排水処理設備、常設ギャラリー 他
認証取得	ISO9001（2001年～）、エコアクション21（2008年～）





組織図





各部門での取り組み内容

CO₂排出量削減

- ・電力の削減
(生産量当たり使用量の削減)
- ・ボイラー燃料削減
- ・リフト燃料削減

工場部門

- ・電力の削減
(電気使用量の削減)
- ・自動車燃料削減

事務・営業部門

水資源の節水

- ・放流水の削減
(生産量当たり使用量の削減)
- ・水道水削減

工場部門

- ・水道水の削減

事務・営業部門

廃棄物削減

- ・一般廃棄物削減
- ・産業廃棄物削減

工場部門

- ・一般廃棄物削減

事務・営業部門

グリーン関係

- ・グリーン調達
- ・工場立地法対策
- ・缶 / ペットボトル分別

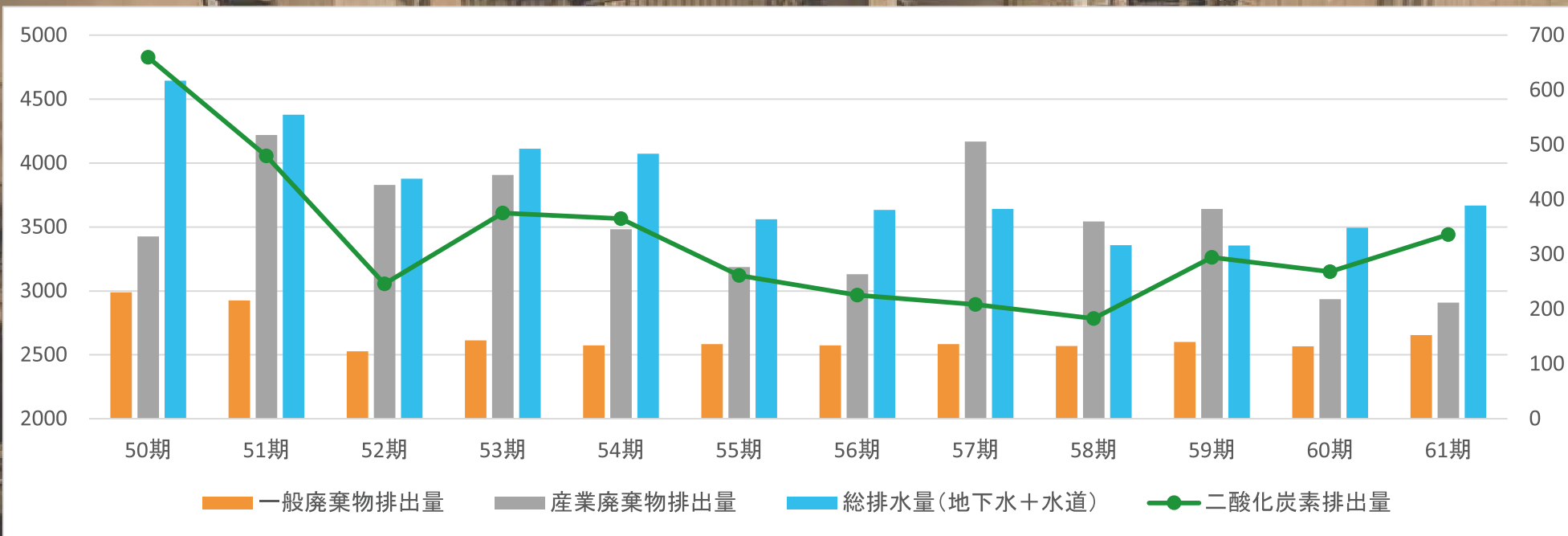
工場部門

- ・環境に配慮した製品の販売促進
- ・グリーン購入

事務・営業部門



環境負荷物質排出量の推移



項目	単位	50期	51期	52期	53期	54期	55期	56期	57期	58期	59期	60期	61期
二酸化炭素排出量	t-CO2/年	4,829	4,056	3,055	3,610	3,566	3,121	2,966	2,895	2,785	3,262	3,150	3,442
一般廃棄物排出量	t/年	231	216	123	143	134	136	134	136	133	140	132	153
産業廃棄物排出量	t/年	333	518	427	445	346	277	264	506	360	383	218	212
総排水量 (地下水+水道)	千m ³ /年	617	555	438	493	484	364	381	383	317	316	349	389

※59期以降から電気使用による二酸化炭素排出量の係数が変更され、数値が上がっています。
(0.378→0.531)

※1t-CO2 = 25m プール約一杯分の体積



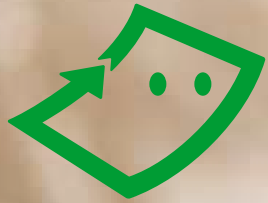
環境目標及びその実績（全社）

削減項目	排出量	2006年	2017年					2018年	
		基準年度	目標		実績			目標	
		数値	数値	削減率	数値	削減率	目標達成	数値	削減率
二酸化炭素 排出量削減 	■電力の生産高当たりの使用料削減 (kWh/ Kg)	0.943	0.830	-12.0	0.960	1.8	×	0.850	-9.9
	■電力削減（工場） (kg-CO2)	1,752,921	1,600,000	-8.7	1,855,784	5.9	×	1,600,000	-8.7
	■リフト燃料の削減 (kg-CO2)	24,513	13,000	-47.0	10,497	-57.2	clear	11,000	-55.1
	■ボイラ燃料の削減 (kg-CO2)	1,780,518	1,609,586	-9.6	1,566,526	-12.0	clear	1,600,000	-10.1
	■電力削減（事務・営業） (kg-CO2)	10,439	8,000	-23.4	7,197	-31.1	clear	7,400	-29.1
	■自動車燃料の削減 (kg-CO2)	15,014	4,204	-72.0	1,305	-91.3	clear	1,500	-90.0
	二酸化炭素排出量合計 (kg-CO2)	1,830,485	1,634,791	-9.7	3,441,836	-4.0	×	1,619,901	-10.1
廃棄物 排出量削減 	■産業廃棄物の削減（工場） (kg/年)	307,350	300,000	-2.4	212,050	-31.0	clear	210,000	-31.7
	■一般廃棄物の削減（工場） (kg/年)	231,150	139,000	-39.9	152,660	-34.0	×	130,000	-43.8
	■一般廃棄物の削減(事務・営業) (kg/年)	392.4	339.8	-13.4	296.0	-24.6	clear	50.0	-87.3
	廃棄物排出量合計 (kg/年)	538,500	439,000	-18.5	364,710	-32.3	clear	340,000	-36.9
節 水 	■生産高当たりの放流水の削減 (m ³ /kg)	0.125	0.085	-32.0	0.107	-14.4	×	0.095	-24.0
	■放流水の削減（工場） (m ³ /年)	616,221	315,000	-48.9	388,858	-36.9	×	345,000	-44.0
	■水道水の削減（工場） (m ³ /年)	3,267	2,200	-32.7	2,818	-13.7	×	2,000	-38.8
	■水道水の削減（事務・営業） (m ³ /年)	1,104	120	-89.1	130	-88.2	×	140	-87.3
	総排水量合計 (m ³ /年)	619,488	317,200	-48.8	391,806	-36.8	×	347,000	-44.0
環境に配慮した製品の販売促進	売上高	4,247	35,000	8.2	59,339	14.0	clear	50,000	881.0

※電力排出係数：0.531

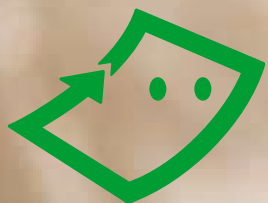
※グリーン購入については、6-2期（2018年度）よりデータ収集はせず、購入したものがどのような役立っているかをまとめていきます。

※2018年の目標値は、2017年の実績より見直した値で、生産量は同等と想定したものです。



環境活動の取り組み（工場）

取り組み計画	評価（結果と今後の方向）
<p>電力の生産高当たりの使用量削減</p> <p>歩留向上 / 製造損紙率低減 / 加工ミス削減 / 明かり窓の設置 電灯の数を減らす / 不要電灯消灯 / 蛍光灯の変更 冷暖房の控えめな使用(冷28℃暖20℃)</p>	<p>目標未達成</p> <p>今期から新排水処理設備関係の電力が上乘せされ、他の（台風直撃・トラブル停止）などの問題もあり、電力を効率的に使用する改善活動など、62期への課題は大きい。</p>
<p>リフト燃料の削減</p> <p>電気リフトへの変更 / 急加速・急発進の防止 通路の確保 / 倉庫レイアウトの見直し・変更</p>	<p>目標達成</p> <p>目標は達成したが、製品出荷量と連動するため、楽観できない。倉庫間の移動が多く、動線の見直しなどレイアウト変更も検討し、効率性と安全性を強化したい。</p>
<p>ボイラ燃料の削減</p> <p>ガス使用量のデータ収集 / 効率の良い抄紙機運転 蒸気漏れの保守点検・保温材装着</p>	<p>目標達成</p> <p>各担当者の意識の向上もあり、今後も保温材取り付け、抄物に応じて蒸気圧調整、蒸気使用改善方法なども実施していく。</p>
<p>産業廃棄物の削減</p> <p>原料流出の防止 / 各ポンプ類の点検 分別回収 / 購入原料の見直し</p>	<p>目標達成</p> <p>後半問題があったが、1年トータルでのコスト削減にも繋がった。62期からはRPF化対応協力会社などの問題を直視しつつ、無駄な資源を生み出さない活動を目指す。</p>
<p>一般廃棄物の削減</p> <p>弁当の割り箸をなくす / リサイクル先の開拓 工程ロスの削減(歩留向上) / ポリラミ損紙目方の現状把握</p>	<p>目標未達成</p> <p>今期は後半、産廃問題もあり3S改善活動などでの成果が上手く繋がらなかったように思える。4R推進のゼロエミを中心に新しい対策案を立てていきたい。</p>
<p>排水放流の生産高当たりの使用量削減</p> <p>歩留向上 / 加工ミスの削減 / 各ポンプのバルブ操作による削減 雨水の再利用使用水量削減の改善提案募集</p>	<p>目標未達成</p> <p>生産数量が減少の傾向、トラブル停止も多くランニングコストなども考え、新排水処理設備についても稼働後のデータ収集をして改善していく。</p>
<p>節水（水道水）</p> <p>節水の呼びかけ / 雨水の使用</p>	<p>目標未達成</p> <p>新排水処理設備関係での水道水使用が増加。今後の対策も考慮しつつ、水資源の省エネを目標にしていきたい。</p>
<p>グリーン調達の推進 その他</p> <p>環境への負荷が少ない原材料の購入と、設備更新時の省エネ設備の設置。 ※緑化計画の推進や、エコキャップ活動による再資源化と途上国の子供たちへのワクチン提供活動に参加。 その他：工場立地法を含めた対策と改善</p>	<p>活動実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①環境を配慮した薬品・染料購入 ②設備更新時に省エネ設備を設置 ③環境対策に関する情報の入手 ④エコ検定受験により、今期合格者2名 ⑤eco啓蒙活動



環境活動の評価（工場）

CO₂の削減



全体としては目標未達成が増えてきた。CO₂削減傾向にあるものの、**新排水処理設備の運営**に手間がかかる。ランニングコストなどの更なる意識向上とロス削減対策を委員会で協議・具体化する。

廃棄物の削減



3S活動・ゼロエミ委員会などにより、全体的にはゴミ分別の意識が高くなっている。ただ、分別をしても、需要と供給のバランスが崩れ、**引き取り先がなくなって**きており、今度の対応策が課題。

排水量の削減



新排水処理設備の運営に関し、ランニングコストやトラブル問題もあり、生産高の影響とあわせて排水量は減少傾向にあるが、品質維持も含め、来期は**データ収集**をしつつ、その活用を目標に、削減できるようにしていきたい。



環境活動の取り組み (事務・営業部門)

取り組み計画	評 価 (結果と今後の方向)
<p>電力の削減</p> <p>不在時消灯の徹底 冷暖房の控えめな使用(冷28℃、暖20℃) 不在時のパソコン電源オフ</p>	<p>目標達成</p> <p>事務所内照明における改善活動(個別電灯)、夏場冬場のエアコン使用のルール化など、実践していく事で対策できたが、猛暑が続き、一時使用量が増えた。今後は継続しながら更なる改善がないか委員会などを共有の場にして、協議していきたい。</p>
<p>一般廃棄物の削減</p> <p>ロス荷札ラベルの有効利用 缶・ビン・PETボトルの分別回収 事務所一般ゴミ分別回収の徹底</p>	<p>目標達成</p> <p>紙ごみの再資源化(分別回収)は徹底しているので、廃棄＝原料の意識で活動している為、かなりの廃棄ゴミが無くなった。今後の活動では、認識を確認しながらの活動が望ましい。</p>
<p>水道水の削減</p> <p>節水表示による意識向上</p>	<p>目標未達成</p> <p>限界数値に来ているが、各所水漏れ点検などの強化は必要。改めて引き続き使用量の削減活動を行なう。</p>
<p>環境配慮製品の販売促進</p> <p>梅炭クレープ紙の拡販 循環型製紙の企画提案と営業強化</p>	<p>目標達成</p> <p>売上が順調に伸び、目標達成。引き続き販売計画を徹底して実行し、売上確保を目指します。 ※来期も年間催事の計画など考慮し、売上アップと認知度アップを目指し、環境に貢献できる活動にします。</p>
<p>自動車燃料の削減</p> <p>アイドリングストップ / 急加速、急停止の防止 不要な荷物は積まない / 月当たりの走行距離調査</p>	<p>目標達成</p> <p>燃費(=走行距離/ガソリン給油量)を考え、データ化し、営業車2台での活動にも、意識の向上が見受けられる。今後も効率の良い運転、公共機関の利用促進で削減を図る。ITによるスケジュール共有なども。</p>
<p>グリーン調達の推進 他</p> <p>グリーンマーク、エコマーク商品など、環境への負荷が少ない環境配慮型商品の購入、及び環境配慮への取り組み 他</p>	<p>ボールペン、マジック、のり、テープ、修正テープ、各種詰め替え用、紙ファイル、クリアファイル、リサイクルトナー、省エネ型家電購入など。全部で19品目の購入など。 来期の活動にどう活用するかという問題や、購入ルールを決めた事により、他部署からのクレームも多々あるが、月2回まとめて発注するという事へ協力を願う。</p>



環境活動の評価 (事務・営業部門)

CO₂の削減



電力・水使用量の削減はほぼ限界に近づきつつある。

車の使用は営業担当者も含め、遠方へは公共交通機関の使用が増えてきている。燃費換算でも前期より、数字が良くなっている。

廃棄物の削減



紙ゴミの再資源化（分別回収）が徹底してきた。自社のオフィス古紙再生サービス KAMIDECO(カミデコ) が PELP! (ペルプ) にかわり、より力が入る。3S 活動の活発化で、不要なものを捨てる為、廃棄物がやや増加傾向にある。

排水量の削減

「節水」表示による意識づけと、まとめ洗いにより今後も無駄な使用を控える。

環境商品の 販売促進

今後は炭再生紙以外にも PELP! 製品も増えてくるので、目標計画の設定と活動内容を詳細にし、循環型製紙（廃棄物の抄き込み紙など）を含め企画提案を更に進める。

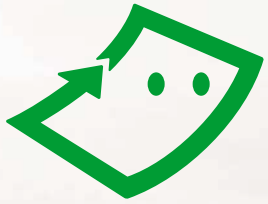


環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
騒音・振動規制法	抄紙機、印刷機、空気圧縮機、スリッター
水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置	抄紙機、排水処理設備
公害防止組織法	排水処理設備
大阪府生活環境条例（大阪府地下水汲み上げ制限）	製紙用水
消防法	原料置き場、少量危険物貯蔵所
フロン排出抑制法	スポットクーラー、空調機
毒物劇物取締法	抄紙用薬品類

順守評価の結果、順守されています。なお、関係当局より、違反等の指摘は、過去3年間ありません。
工場立地法の届出を随時予定しています。（緑化面積の問題）



環境活動の紹介① —eco検定—

自然の恵みを享受して成り立つ
製紙業だからこそ、環境問題が
最重要課題の一つであることを
認識し、エコな紙創りを目指す、
エコピープル（※）たち。
今年は**3名**増えました。

エコ検定合格者：36名
(2018年10月現在)

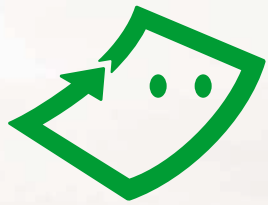


※エコ検定とは

正式には、『環境社会検定試験』といい、東京商工会議所が開催しています。

2006年10月に第一回の試験が行われ、以降毎年7月と12月に実施されています。

試験の点数は100点満点で、70点以上取れば合格で、合格した人は「エコピープル」として認定されます。



環境活動の紹介② —CSR検定—

循環型社会への貢献を掲げる
「経営理念」の実現がCSRの取
り組みにつながると考え、より
理解を深めるため、全員合格を
目指します。

今年は4名増えました。

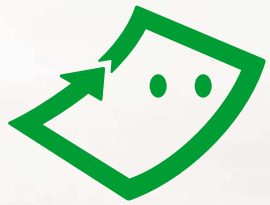
CSR 検定合格者：24名

(2018年10月現在)



※CSR検定（3級）とは

企業や組織がサステナブル（持続可能）になるために、CSRの基本知識を身に付け、CSR活動が企業価値を高め、NPOとの協働の重要性、企業と社会が連携して社会的課題を解決する意味など、「CSRリテラシーの基本」を身につけることを目的としています。毎年4月と10月に試験が行われています。



環境活動の紹介③ ーアドプトリバー男里川ー

紙を創るのにかかせない、
伏流水の供給源である男里川
(おのさとがわ)。毎月有志で
清掃しています。ゴミを拾っ
たり、草を刈り取ったり。
魚や鳥の住みやすい環境をつ
くるために、地域の皆さまと
協力して、毎月第二日曜日、
朝8時から1時間ほど、活動
しています。



夏も！



冬も！



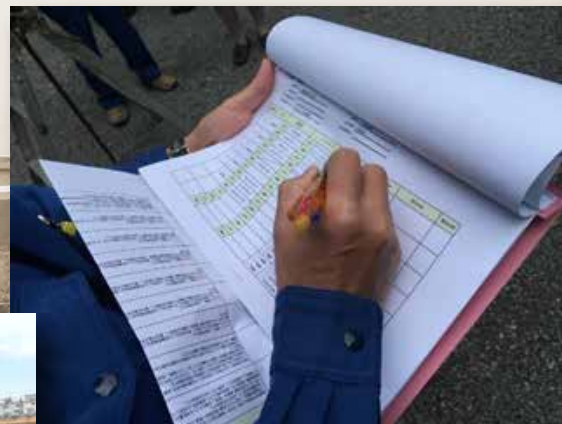
海も！



環境活動の紹介④ —BCP訓練—

- もし未曾有の災害が起こったら -
- 昨年から導入している BCP 訓練
では災害（津波・地震）が起きた
際の、その後の経営も含めた対策
と避難を実際出来るかどうかの訓
練を実施しました。

初期初動では改めて必要なモノや
道具、避難経路に関して協議をし、
年に1回でも継続した訓練を実施
していく事を決めました。



避難場所、
災害備品など
しっかり確認！

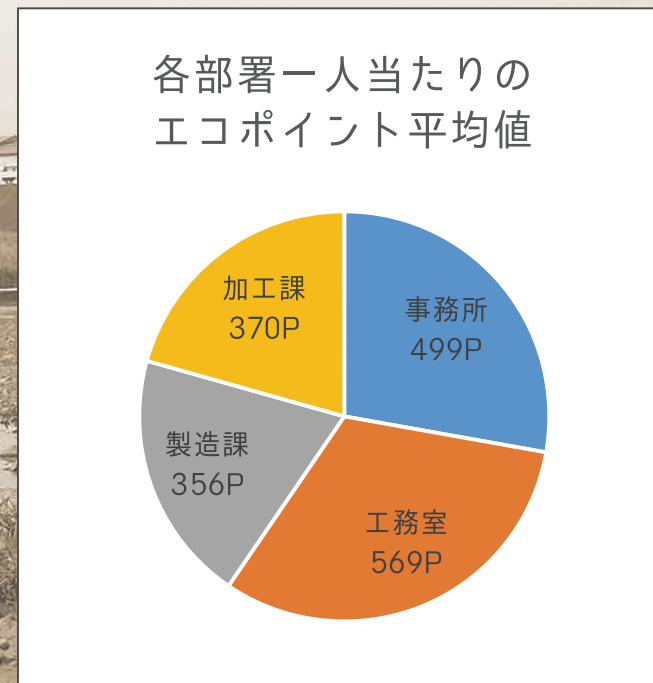




環境活動の紹介⑤ ーリサイクル活動（EA21,ゼロエミッション）ー

独自の
エコポイント制
で活発化！

エコイベント	エコポイント制	ポイント	利用目的
アルミ缶回収		1缶=1ポイント	現金化による、社内緑化活動にて還元
スチール缶回収		1缶=1ポイント	
ペットボトル回収		1缶=1ポイント	
ペットボトルキャップ回収		1個=0.5ポイント	エコキャップ推進協会加盟（推奨）のリサイクル業者への提供
ガラス瓶などの廃棄		1缶=-1.5ポイント	廃棄物増加の原因なので、推奨しません。
段ボール回収		1kg= 5ポイント	社内リサイクル資源として活用 (原料パルパー横のパレティーナに計量し、分別の事。)
新聞紙回収		1kg= 5ポイント	
白紙回収		1kg= 5ポイント	
その他雑紙回収		1kg= 1ポイント	
書き損じハガキ回収		1枚=10ポイント	※書き損じハガキは工務室「専用回収箱」に入れて下さい。
古着回収		1kg=5ポイント	社内ウエス、社内バザー(交換)、海外提供



紙資源の回収は、社内でするもの、社員宅のものも含め、随時分別回収を行い、製品原料として使用中。(ダンボール・雑誌・新聞紙・コピー用紙など)



アルミ・スチール・ペットボトル・キャップに分別し、資源回収を行っています。キャップは3年前から回収を始め、現段階で、19,393個リサイクル業者に提供。



環境活動の紹介⑥ —3S活動—

3S活動とは、「整理・整頓・清掃」を仕事の一環として、生産性・効率化・安全性を考え、**会社全体の環境改善に取り組む活動**です。

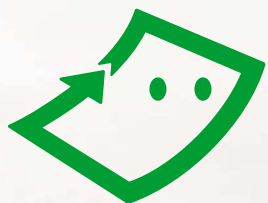
- 汚れる頻度の多い場所の仕組みを変えて、汚れない環境にする
- 工程の多い仕事の流れの短縮化
- 危険個所の修繕や補強・看板設置などにより安全な環境を確保する活動です。

毎年関西では「3Sサミット」というイベントが開催され、弊社は毎年参加しています。



3S活動報告書

3S作業風景



環境活動の紹介⑦ ードリカムスクールー

「ドリカムスクール」は、企業が自社の仕事や仕事にかける思いについて出前授業を行い、学生がその企業から与えられるミッションの解決に向け、グループワークで取り組むものです。地元への地域貢献と若手社員の理念の浸透にも役立つと考え、2016年に初めて実施しました。3年目となる今年は1年目の様子を聞いた地元の先生からの依頼で実現しました。参加した子どもたちの数は今年で160名になります。

小学生に工場を案内する
若手社員



仕事への思いや夢を
語る若手社員

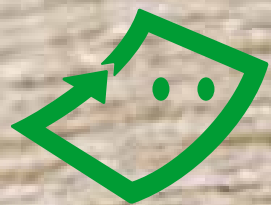


小学生に自社の紙の特徴
を伝える若手社員



今期の目標を掲げる
メンバー5名（三期生）





クレープ紙製品のご紹介

■ 製袋用

創業以来80年、セメント袋・米袋の口縫い部分の紙として使用され、国内トップシェア

■ 包装用

弊社独自技術（糸入り一次クレープ紙）の開発により、ステンレス／鉄／電線の梱包・防錆資材として使用されている

■ 層間紙

電子部品（リードフレーム、コネクター）関連の合紙として一般クラフト、中性クラフト無塵紙などが活躍

■ ラッピング

花用（鉢・花束）ラッピングペーパーとして販売メーカーのオリジナル商品・手提げバッグなどを製造



クレープ紙とは、紙に刃をあてることで、シワを付け、強度と伸縮性を付加したものです。



アップサイクルサービスのご紹介

—PELP! (ペルプ) —

ペーパー ヘルプ プロジェクト
PEPAR HELP PROJECT

捨てず、燃やさず、めぐる紙

紙を捨てることは簡単
その代わり、ごみは増える
紙を燃やすことは簡単
その代わり、資源は消える
あなたにとってはいらぬ紙
地球にとっては貴重な資源

少なくとも、多くても
再生紙創りを専門とする私たちが
不用なコピー用紙を回収し
地球の資源を救います

紙は生まれ変わります
あなたのもとにまた還る

捨てないで、燃やさないで
ふたたび、みたび、めぐる紙

PELP! は、コピー用紙を資源に変える アップサイクルサービスです。

2018年5月に「KAMIDECO (カミデコ)」から「PELP! (ペルプ)」に生まれ変わりました。

不要なコピー用紙を専用回収袋「PELP!BAG」に入れ、山陽製紙に送ることで、今まで捨てられていた紙が再生紙として、生まれ変わります (PELP!PAPER)。その100%再生紙で思いの詰まったより価値のある「PELP!PRODUCT」が作られます。

資源としてまだ使える紙が捨てられているのを何とかしたいという思いから生まれた「PELP!」。送った紙の総量とCO2削減量などの環境貢献指数が一目で分かるシステム (KAMITORE) の閲覧や、環境活動にも貢献できます (1%FTP)。自社のCSRやSDGsにも活用できる、手軽なアップサイクルサービスです。

このサービスを広げるため、全社営業で取り組んでいきます。



「1% FOR THE PLANET」は、自然環境保護の必要性を理解する企業の同盟です。「PELP!」を通じて生じた売上の1%は自然保護活動を行う団体に寄付されます。



世界に先駆けて再生紙のトレーサビリティを可能にしました。どの企業で分別された紙が、どんな紙に生まれ変わったかなど、再生状況の全てが追跡可能に。再生重量総数を環境貢献指数に換算表示。



アップサイクルブランドのご紹介 —SUMIDECO（スミデコ）—



SUMIDECO

日本古来の健康食品として名をはせている『梅』。我が社はそのブランドである「南高梅」の産地のほど近くにありま。美味しい「南高梅」は、世界中の人に愛されていますが、一方で、加工業者から出る梅の種が産業廃棄物としてその処分が問題となっていました。そこでその種を「炭」にして、用途を広げるために紙の中に抄きこめないと依頼がありました。弊社は独自の製法で、梅の種の「炭」を紙の中に抄き込み、「炭」の機能を持った紙に生まれ変わらせました（sumideco paper）。その再生紙のプロダクトブランドが「SUMIDECO（スミデコ）」です。



炭化させた種などを紙に抄き込み、炭が持つ優れた機能を生かした再生紙

「不用になったモノを捨てずに再活用し、よりよいものにする（アップサイクル）」というコンセプトを基に独自技術で産業廃棄物を炭化し配合した「炭再生クレープ紙：sumideco paper」。炭の機能性を活かした（※）、靴の消臭シート「エコクック」を販促用として展開したり、独特の風合いを活かして、「SUMIDECO」として、ブックカバーなどの製品も手がけています。「古紙・炭・水」だけで作られたエコロジーなプロダクトです。

sumi eco KuKKu



SUMIDECO product

※炭の持つ優れた機能

- 脱臭・消臭効果
- 防カビ・抗菌効果
- 除湿・調湿効果
- VOC・ホルムアルデヒド吸着効果
(※エチレンガス吸着効果による)





アップサイクルブランドのご紹介 —crep (クレプ)—



工業用クレープ紙の特徴を活かした、
「自然を楽しむ」アップサイクルブランド

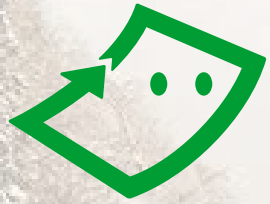
“自然をもっと楽しもう” をコンセプトに生まれたの紙のプロダクトブランドです。紙製レジャーシート「ピクニックラグ」などの crep (クレプ) の商品は、電線の包装等に使用される再生紙「工業用クレープ紙」の高い強度を活かしており、紙にも関わらず繰り返し使えます。紙ならではの素朴な風合いと親しみやすいデザインが、ピクニックなど自然を楽しむアクティビティをやさしく彩ります。

crep は、使い捨てではない新しい紙の可能性を広げながら、人と自然のより良い関係について考え続けていきます。



 GOOD DESIGN AWARD 2018





環境トピックのご紹介

2017年

- 自然エネルギーでの稼働開始（水芭蕉水力発電所から電力購入 /FIT）※1
- ドリカムスクール（泉南市立鳴滝小学校／2年目）
- 【crep】インテリアライフスタイルにて「ベストバイヤーズチョイス」を受賞
- 環境省の企業人づくり大賞 中小企業の部 優秀賞受賞
- アドプトリバー 男里川の清掃活動（月1回）

2018年

- 活性炭ろ過方式排水処理設備稼働開始 ※2
- 【PELPI】KAMIDECO から PELPI に
- 【PELPI】環境展に出展
- ドリカムスクール（泉南市立樽井小学校／3年目）
- 【PELPI】2018 日本パッケージングコンテスト 輸送包装部門賞を受賞
- 【crep】GOOD DESIGN AWARD 2018 受賞
- 環境省の企業人づくり大賞 中小企業の部 優秀賞受賞（2年連続）
- 【PELPI】エコメッセ千葉に出展
- アドプトリバー 男里川の清掃活動（月1回）



（※1）みんな電力

わが社は再生可能エネルギーを主な電力源とする電力会社（みんな電力株式会社）の新電力を導入しています。

わが社では主に長野県の水芭蕉水力発電所で作られたクリーンエネルギーを使用しています。



（※2）活性炭ろ過方式排水処理設備

紙創りには工場の横を流れる男里川の伏流水を利用しています。使用した水は活性炭ろ過方式の排水処理設備を使って処理を行い、きれいな水にして選んでいます。



工場見学 & 紙抄きイベント



工場見学やイベントの
出展が多くなってきました。
工場見学は、企業・団体様、
ご家族まで、**随時受付中**です。

詳しくは、弊社HPを
ご覧ください！



No.3活性炭塔
100m³/h



総括

～代表者による全体評価と見直しの結果～

今から12年前、会社設立50周年を迎えたのを機に経営理念を刷新しました。「紙づくりを通して循環型社会に貢献する」というものです。以来経営理念を具現化するために男里川の清掃活動を始め様々な環境活動に取り組んできました。ハード面では重油ボイラーからガスボイラーへの転換、徹底した省エネによる電力量の削減など、ソフト面では eco 検定 / CSR 検定試験などを活用した環境人財の育成です。その成果が認められ、環境省主催の「環境人づくり企業大賞（中小企業の部）優秀賞」を2年連続して受賞できたことは喜ばしい大きな成果です。その点を踏まえて環境方針に「環境人財の育成」を新たに追加します。

また昨年度は電力を新電力の再生エネルギー（FIT）に転換し、今年度は活性炭処理による新しい排水処理設備が本格稼働しました。しかしながら排水処理設備の減価償却費の増加や排水処理の為のランニングコストの増加で経費が増大し収益性が低下しています。2008年にEA21を認証取得して以来10年が経過しましたが改めて原点に戻り、全社を挙げて徹底した省エネに注力したいと思います。営業面ではKAMIDECO（カミデコ）からPELP!（ペルプ）へのリブランディングにより全社一丸で拡販に取り組む事が課題です。PELP! 会員が増えることが地球環境（森林資源）を守ることにつながり、全世界の目がSDGsに向けられている事は我が社にとってもPELP!の拡販に大きな機会になると考えます。5年後「PELP! 会員1万社」を目指し製販一体となって取り組みましょう。また、今年の台風21号の到来では大きな被害をこうむりましたがBCPの運用に危惧を感じます。今年度は改めてBCPの見直しと定期的な訓練を実施致します。

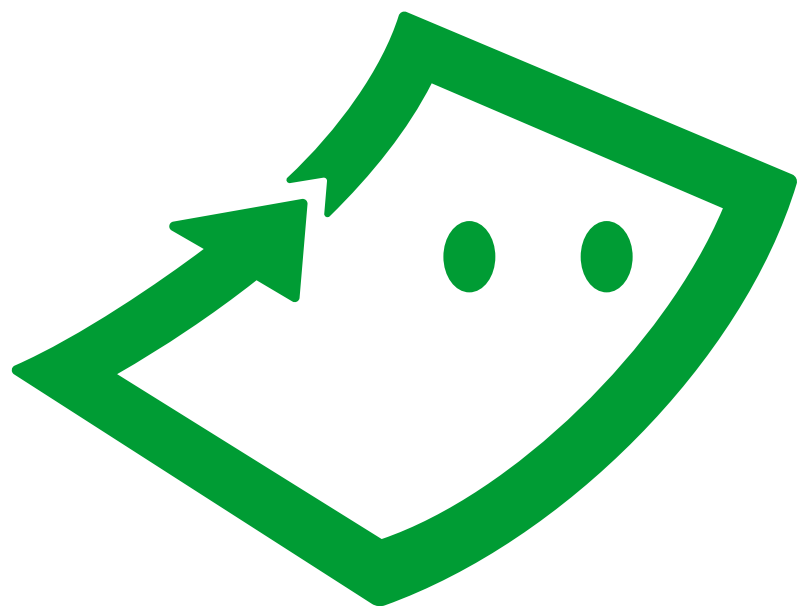
61期の主要ポイント

- ① 再生エネルギー / 新排水処理設備運用
- ② KAMIDECO → PELP!
- ③ 産廃問題の深刻化
- ④ 台風21号の脅威
- ⑤ HP・制服の刷新
- ⑥ ドリカムに寄る地域貢献（3年目）
- ⑦ 工場見学（紙すきイベント）が増加
- ⑧ crep グッドデザイン賞受賞
- ⑨ 男里川清掃13年目
- ⑩ 環境人づくり大賞 中小企業の部 2年連続優秀賞受賞

山陽製紙株式会社
代表取締役

原田 六次郎





これからも美しい自然を守り、
後世に残すため、「循環型社会」
を目指し、「自然を守る活動」や
「地球環境負荷低減活動」に
全社員で積極的に取り組みます！



事務局長



最後までご覧いただき、ありがとうございました！